



EU Risk Assessment – provisional timing and outlook 欧州リスクアセスメント – スケジュール

- 1月31日 EU技術委員会 (TC NES) が3月9,10日に開催される場合の健康リスクアセスメントレポート案公表期限
- 3月9,10日 EU加盟国の技術専門家により健康リスクアセスメントレポート案(健康影響のみ)が詳細審議されるTC NES開催日
- 5月1日 環境暴露に関する追加データ提出期限
- 9月 環境関連調査結果についてTC NESでの最終審議
- 11月 健康関連調査結果についてTC NESでの最終審議?
- 2007年第2四半期 EU関係当局による最終リスクアセスメントレポート承認?
- 2007年4月 REACH の施行開始、現行リスクアセスメント・システムの終了期限

Swiss Government Study demonstrates safety of antimony levels in PET-bottled waters

スイス政府の研究でPETボトル飲料水のSbレベルの安全性証明

スイス公衆衛生局 (SFOPH) は2005年10月に公表した研究で、「PETボトルからミネラルウォーターにSbが溶出することによる健康へのリスクは無視しうる」と結論づけた。SFOPHは2003年からスイスの飲料水中の微量元素の研究を行っており、その一環としてPETボトル中のミネラルウォーターのSb濃度を測定した。DATはPET製造時に触媒として使用され、PETはミネラルウォーターの容器材料に使われている。

PETボトル飲料水のSb濃度は平均0.43 μg /リットル、最大溶出Sb濃度は1.14 μg /リットルであった (SFOPHは最大値1.14 μg /リットルは天然水でもありうるSb濃度だと指摘している)。これらの実測値は世界保健機関 (WHO) が定めた規制値の範囲内である。WHOは2003年に飲料水中のSb上限勧告値を5 μg /リットルから20 μg /リットルに緩和している。

SFOPHの研究結果は安全限界が高いことも示唆している。WHOによれば、体重60kgの成人の1日のSb最大耐容摂取量は360 μg とされる。SFOPHの研究では、Sbを含有するミネラルウォーターを大量に摂取したとしても(例えば1.2 μg /リットル濃度で3リットル摂取したとしても)、1日のSb最大耐容摂取量の1%にすぎないという結果となった。従ってSFOPHの研究は、PETボトルから溶出するSbが消費者に与えるリスクは無視し得ると結論付けた。

出典:

Bundesamt für Gesundheit/Office fédéral de la santé publique, Bulletin 44/05, 31 Octobre 2005.

For full test see:

http://www.bag.admin.ch/dienste/publika/bulletin/2005/d/BU44_05d.pdf - German language version;

http://www.bag.admin.ch/dienste/publika/bulletin/2005/f/BU44_05f.pdf - French language version)

Need for emissions data from antimony trioxide users in pigments, paints, glass and flame retardants sectors (plastics-rubber-textiles)

DAT ユーザーの排出データが求められている

顔料、塗料、ガラス、難燃剤 (プラスチック、ゴム、繊維) などDAT (三酸化アンチモン) を使用する分野でのDATの環境排出データは依然不足している。このデータギャップは前回のTC NESでIAOIAに課せられた締切日である2006年5月1日までに解消されなければならない。PETでの経験 (次ページの関連記事参照) に基づき、誤ったデータが用いられて現実には存在しないリスクを宣伝されないためには、データギャップの解消は有益である。ATOSは上記分野の各ユーザーが期限までに排出データを提出できるようEuralex, CIRFS, CEPI, EBFRIIP等のユーザー業界と連絡を取り合っている。データギャップの解消に協力いただけるDATユーザーはATOSのプロジェクト担当コンサルタント Mike Neal [petkonsept@ntlworld.com] に連絡願いたい。

IAOIA Mission 国際酸化アンチモン協会(IAOIA)の使命

国際酸化アンチモン協会の使命は、アンチモン物質及びその用途における環境、健康、安全規制問題について、世界中のアンチモン生産者、消費者、その他関係者の共通の利益に貢献することである。

IAOIAの活動は会員により決定され、アンチモン物質の安全性及び有用性に関する研究の実施、情報の普及、政府当局に提出する化学情報の作成などからなる。

EU Risk Assessment – data confirm WHO and EFSA review EUリスクアセスメント - 提出データがWHO、EFSAの検証結果に一致

IAOIAグループは過去5年間にわたり、DATの環境及びヒトの健康への影響に関連するデータ提供に焦点を当てた広範囲の研究に時間と努力を費やした。新たな研究がリスクアセスメント手続(793/93/EC)に従って実施された。その研究結果は2003年の世界保健機構 ([World Health Organisation](http://www.who.int)) による毒性学的検証結果と一致している。WHOは当時利用可能な科学的データの広範な検証に基づいて、消費者安全限界係数を引き上げた上で飲料水中の指針値を5 µg/lから20 µg/lに緩和した。2004年1月には、欧州食品安全局 ([European Food Safety Authority](http://www.efsa.europa.eu)) がWHOに呼応して、食品中のDATの溶出限界値を20 µg/kgから40 µg/kgへと2倍に引き上げ (緩和し) 、2005年11月18日付2005/79/EC指令により施行した。リスクアセスメント手続についての詳細情報は、www.iaoia.org で閲覧可能 (トップページの“Risk Assessment”をクリック)

Progress on Environment Assessment – real data on industry emissions removes several risk scenarios

環境リスクアセスメント進捗 - 産業界からのデータ 提供がリスクシナリオを排除する

ATOSのDAT生産者とユーザーは協力して、EUのリスクアセスメントにおいて土壌、底質、排水処理に対する潜在リスクの計算が実際のデータに基づいて行われるよう、環境研究を牽引してきた。DATを使用するすべてのPET樹脂製造工場がデータ提供に協力した。いくつかの工場は排水中のSb濃度を測定した。その結果、信頼できる情報に基づいて地表水、底質、土壌など環境中のSb濃度を予測し、以下の結論を導くことができた。

- 底質に対してはより高いPNEC (予測無影響濃度)
- 排水処理施設に対して明確にリスクが無いこと
- 海水に対して残留リスクが無いこと
- 海水底質に対して残留リスクが無いこと

Progress on Human Health Assessment – new science indicates no restrictions on DAT use

ヒトの健康アセスメントの進捗 - 新たな研究がATO 使用制限の廃止を示す

最近IAOIAは急性毒性 (感作性、刺激性、吸入毒性)、労働曝露 (粒度分布、皮膚曝露、吸収及び発塵性)、変異原性研究 (毒性動力学、生体内遺伝子毒性) のデータギャップを補填した。

これらのデータはDATが感作性も眼や呼吸器系への刺激性もないという結論を導く証拠を提供している。ヒトのデータではDATがヒトの皮膚への刺激性があり、従ってリスク警句R38に分類されるべきことを確認している。

我々は新たに行った毒性動力学の結果を考慮し、また生体変異原性に関する新規の研究1件と既存の研究1件の結果に基づいて、DATに突然変異性はない (即ち突然変異性分類はスエーデンが提案したクラス3ではない) ことを確信している。従って、発癌性分類はクラス2ではなく、クラス3 (即ち発癌可能性を証明するデータはない) に据え置くべきである。

Updated List of IAOIA Members: 最新のIAOIAメンバーリスト

IAOIAメンバーの最新リストは、www.iaoia.org で閲覧可能

これらの企業は、アンチモン製品市場を守るために、政府機関への適切な対応及び信頼出来るデータの開発や提供などの活動に奮闘しています。活動費用や人的貢献はこれらの企業が分担しています。貴社は、これらの企業をビジネス相手として選択することによって、我々の業界を支援することになります。貴社がアンチモン製品の生産者、流通業者、消費者であり、こうした取り組みに貢献する意志がおありなら、IAOIA、日本鉱業協会、中国五鉱化工進出口商会または会員企業にコンタクトして頂きたい。

Organisation of IAOIA IAOIA 組織

役職	氏名	e-mail アドレス	電話番号
議長	Dave Sanders	david.sanders@chemtura.com	+ 1 765/497 6319
副議長	Geert Krekel	geert.krekel@campine.be	+ 32 14 601 549
経理	Gilles Ozoux	gozoux@pcdlucette.com	+ 33(0)243012310
事務局長	Karine Van de Velde	Karine.vandevelde@campine.be	+ 32 14 601 578
日本Sb環境安全対策協議会議長	町田博治	machida@nihonseiko.co.jp	+ 81 3 3235 0031
中国五鉱進出口商会	Huang Chongbiao	huangcb@minmetals.com	+ 861068495302